

たむらの稲作情報 ー第6号ー

令和8年7月30日発行

J A福島さくらたむら統括センター・田村農業普及所 〈問合せ先：0247-62-3113〉

〔普及所 HP : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36221a/r8inasakuinfo-01.html>〕

【東北地方 1 か月予報】（仙台管区气象台 7/23 発表）

平均気温は平年より高い、降水量は平年より多い見込み

- 登熟期の高温による品質低下（白未熟粒・胴割粒等）が懸念されます！
- 飽水管理、斑点米カメムシ類の防除や適期収穫に注意しましょう！

1 管内の主要品種の出穂期の予想（7月29日時点）

- 里山のつぶ（船引）：7月29日（平年差：±0）
- ひとめぼれ（小野）：7月31日頃（平年差：-1）見込み
- コシヒカリ（三春）：8月6日頃（平年差：-1）見込み

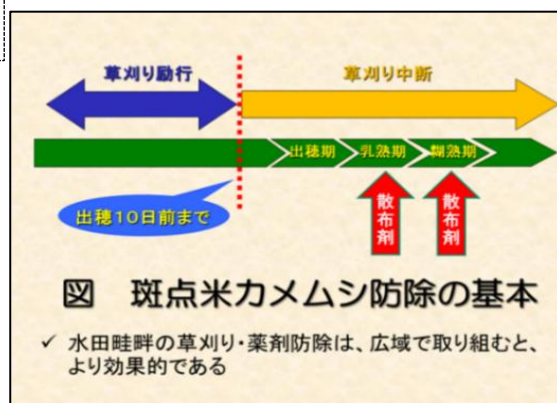
出穂期は平年並み～1日早い予想
『出穂期』：ほ場の50%の穂が出穂

2 斑点米カメムシ類・穂いもち防除について

【斑点米カメムシ類多発注意報が発表中！】

・斑点米カメムシ類の散布剤による防除時期は、

- ①「乳熟期（出穂期の7～10日後）」と
- ②「その7日後」の2回散布が基本です。



1回目（乳熟期）予想：ひとめぼれ（船引・小野）⇒8/7～8/10 頃

：コシヒカリ（三春）⇒8/13～8/16 頃

※田植時期、品種で出穂期が異なるので、ほ場の稲の生育に合わせて散布する。

【表1 斑点米カメムシ類対策の薬剤例】

薬剤名	防除時期	希釈倍数・使用量	使用回数
スタークル液剤 10 ※	乳熟期及びその	1000 倍（60～150L/10a）	3 回以内
スタークル粉剤 D L ※	7 日後	3 kg/10a	3 回以内

※ 2剤とも有効成分が同じなため、合計使用回数に注意。併せて、蚕への毒性が強い農薬のため、使用規制地域では使用を控えましょう。

【穂いもち防除について】

- ・管内では、7月に葉いもち感染好適条件が多く出現しています（県病虫害防除所HP掲載）。7月下旬より、管内で葉いもちの多発ほ場が散見されています。
- ・いもち病が例年多発する水田や、葉色が濃く生育が旺盛な水田は、予防防除をしっかりと行いましょう。

【表2 穂いもち対策の薬剤例】

薬剤名	防除時期	希釈倍数・使用量	使用方法	使用回数
ブラシン粉剤DL	穂ばらみ期～穂揃期	3～4kg/10a	散布	2回以内
ブラシンフロアブル		1000倍(60～150L/10a)	散布	2回以内

3 今後の栽培管理

(1) 水管理

ア 穂ばらみ期～穂揃期：開花や受精に特に水を必要とする時期のため、湛水管理を基本（浅水）とする。

イ 登熟期：飽水管理を行い、夜間の地温を下げましょう！

ウ 落水時期：早期落水は行わず、なるべく出穂30日後頃まで飽水管理を続けましょう！

飽水(ほうすい)管理とは、浅く水を入れ、自然に足跡に水がたまる程度に水量が下がったら、また水を浅く入れる水管理方法



飽水管理の目安

(2) 刈り取り適期の目安

- 積算気温（出穂期から日平均気温を積算します）
チヨニシキ・ひとめぼれ等… 950～1100 ℃
里山のつぶ・天のつぶ・コシヒカリ等… 1000～1200 ℃
- 籾の黄化状況
ほ場全体を見渡し、平均的な株の穂で判断します。
→刈取適期は、85～90%の籾が黄化した時期です！

8月は高温で経過する予報のため、登熟が早まり、**刈取適期が平年より数日早まる見込み**です！

(例) 刈取適期予想(船引アメダス、平年値の積算気温より)

7/31出穂期(ひとめぼれ)の⇒刈取適期は「9/12～9/18」、刈取晩限は「9/24頃」

8/6出穂期(コシヒカリ)の⇒刈取適期は「9/22～10/3」、刈取晩限は「10/3頃」

★刈り遅れると…胴割米や着色粒が増加し、品質低下

★早刈りすると…青未熟粒が多くなり品質低下、高水分籾となる

～熱中症予防、作業時の安全対策を行いましょう！～

◇熱中症予防 ～こまめな水分補給、こまめな休憩をとり、無理をしないこと

◇コンバイン ～走行中の転倒、整備中の事故、手こぎ中の巻き込まれ等に注意